

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	企画総務部 政策企画課	評価者 (課長)	高木 一義	評価責任者 (部長)	近光 慎二
事務事業コード	012019	事務事業名	企画管理事務費	事業の分類	(経常的事務事業) 補助・単独の別 単独 会計名 01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	VIII 計画推進のための方策(第4章)	節(まちの姿)	VIII 1 -	実施計画	×
	基本施策	VIII12 効率的な行政経営(第4章)	基本方向	民間活力の導入や限られた行政資源を有効に活用し、簡素で効率的な行政経営に努めるとともに、意欲、能力、適性を生かした職員の育成と行政需要に適時・適切に対応した機動的な組織づくりを進めます。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	効率的な行政運営			【実施なし】 %	
	推進施策の展開	○第2次行財政改革大綱の着実な推進を図り、「選択」と「集中」による行財政の推進を図ります。 ○市が提供する各種サービスの質を高めることにより、市の業務に対する満足度の向上を図ります。 ○行政を取り巻く環境の変化に迅速かつ柔軟に対応するため、事務事業の再編・整理や組織力・職員力の見直しを常に意識した施策を推進します。			25年度市民評価の満足度	
事業の目的(対象、意図)	対象(誰を・何を):	意図(どういう状態にしたい):	事業の内容(手段)	○通常の管理業務や内部調整事務のほか、新規企画業務や特命事項、また、突発的な業務へ対応を行う。 ○課内の庶務、庁内外の諸連絡や情報提供を行う。		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績 【26年度】	○各部署の政策決定を加速するため、適宜政策調整会議を開催し、新年度予算案に反映 ○施政方針を調製 ○企画業務や特命事項に関する協議を実施 ○国や地方自治体に関する情報提供システム等を活用し、最新情報の収集に努めた。						事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)
	直接事業費	千円	4,175	4,228	4,220	4,511		4,220						
事業目標	目標名	—	計算式	達成項目/目標項目	単位	%	(予算額) うち一財	千円	4,175	4,228	4,220	4,508	4,220	
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	直接事業費	千円	3,829	3,940	対27年度増減理由		対28年度増減理由	
	目標値	—	—	—	—	—	(決算額) うち一財	千円	3,829	3,940				
	実績値	—	—	—	—	—	正職員人件費	千円	41,020	26,622				
	達成度(%)	—	—	—	—	—	人工数	人	5.60	3.60	3.60			
							支出コスト	千円	決) 44,849	決見) 30,562				
事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否			
	①	庶務等事務 (経常的事務事業)	市が実施する事務事業	庁内・庁内外の業務の円滑化	—	課内の庶務、庁内外の諸連絡や情報提供	正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託			
							0.55		3,940	否	否			
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 特になし						A	改善案					
	②	総合特区 (経常的事務事業)	市が実施する事務事業	規制緩和等による地域経済活性化	—	総合特区申請案件の調査	0.3		-	否	否			
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input checked="" type="checkbox"/> その他 一過性にならないよう、更なる有効な手法を検討しながら、将来を見据えた施策展開へつなげる。						B	改善案	総合特区の内容等について調査研究、検討を進める					

	細事業名 事業の分類	事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト	委託等の可否	
						正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託
事業を構成 する細事業 【26年度実績】	③ 周南コンビナート活性化推 進懇談会 (経常的事務事業)	市⇄市内コンビナート企 業5社	産業基盤整備の組み の加速化	—	周南コンビナート活性化懇談会の 実施	0.2		-	否	否
	細事業 の 課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 特になし			細事業評価					
	④ 幹部会議・政策調整会議 (経常的事務事業)	市が実施する事務事業	重要施策の政策決定の迅 速化、円滑な市政運営の 促進	—	毎月2回の「幹部会議」と適宜「政策 調整会議」の開催及びてん末調製	0.55		-	否	否
	細事業 の 課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 特になし			細事業評価					
	⑤ 施政方針 (経常的事務事業)	市⇒市民	市の施策を広く市民に周 知	—	新年度当初予算編成後「施政方 針」を調製 「予算の概要」と統合し、市広報別 冊にて配布	0.25		-	否	否
	細事業 の 課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 特になし			細事業評価					
	⑥ 市長特命事項対応 (経常的事務事業)	市が実施する事務事業	新規施策展開へ向けての 調査研究、迅速・的確な展 開	—	市長からの指示事項の調査研究 担当部局との調整	0.4		-	否	否
	細事業 の 課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 特になし			細事業評価					
	⑦ 議会対応 (経常的事務事業)	市⇄議会	執行部と議会との総合窓 口の一本化によるスムーズ な行政運営	—	議会対応の総合窓口、議会事務局 との総合調整、一般質問の振り分け 及び取りまとめ	0.3		-	否	否
	細事業 の 課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 特になし			細事業評価					
	⑧ 新市建設計画進捗状況分 析 (ソフト事業)	市⇒市民	新市建設計画に掲げた事 業の進捗状況の管理・分 析	—	計画掲載事業についてH25年度末 の実施状況について調査	0.2		-	否	否
	細事業 の 課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 特になし			細事業評価					

事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名 事業の分類	事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト	委託等の可否	
						正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託
	⑨ 後期基本計画進捗管理及び実施計画策定 (ソフト事業)	市⇒市民	後期基本計画に基づき、3か年を期間としたローリング方式により実施計画を策定・公表	—	3月定例会での新年度当初予算議決後、市ホームページ等で公表	0.45		-	否	否
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 特になし			A	改善案	細事業評価			
	⑩ 政策提言・要望 (経常的事務事業)	市民からの政策提言や要望事項についての内容検討及び担当部局との調整	市民参画の促進、政策に関わる参考意見聴取	—	市長への政策提言・要望の取りまとめ、回答	0.25		-	否	否
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 まちづくり提言箱に投函される内容は、市役所に対する不満や苦情が多く投函される。市民からの貴重な意見としてとらえているものの、本来の趣旨と外れている傾向がある。			B	改善案	他団体の事例等を調査・研究し、さらに有効な活用の研究を行っていく。			
	⑪ 国・県・政党への要望 (経常的事務事業)	市⇔国・県・政党	市の地域課題や要望を国・県政に反映	—	本市のまちづくりに係る重要事項を国や県に要望	0.1		-	否	否
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 特になし			A	改善案	細事業評価			
	⑫ 三者連携 (ソフト事業)	市・徳山大学・徳山高専	市と高等教育機関が連携し、諸課題の解決策の検討や各種の情報共有を行う。	—	関連事業への参加依頼や現在取り組んでいる事業等の情報共有会議を実施	0.05		-	否	否
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 三者が連携して取り組む課題の抽出			B	改善案	地域に根差した高等教育機関として、地域社会と関わることのできる事業の創出等について研究を行っていく。			

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	組織体制の変更等はあったが、業務内容は基本的に変化はない。	前年度までの指摘事項	本事業は、様々な業務で構成されており、いずれの業務も市政運営を円滑に進めるうえで必要不可欠な業務である。常に費用対効果を念頭に、適切かつ迅速な対応が必要となる。	指摘事項に対する改善状況	政策調整会議等結論を導き出す会議の実施にあたっては、副市長等への事前の説明を担当よりしっかりとさせ、安に内容説明の会議とならないよう事前調整を行う。
	細事業の課題・問題点	まちづくり提言制度においては、苦情や意見に関するものと、まちづくりの提言に関するものとの取扱い方法について見直し・検討の必要がある。将来にわたるまちづくりを行っていく上で、構造改革特区や総合特区制度を有効に活用し、調査研究を推し進める。	事業全体の課題・問題点	市の方針決定を副市長以下の関係部局で協議する「政策調整会議」が安易に報告、協議の場とならないよう、問題点の洗出しや事業実施における費用対効果など、事前の協議をしっかりと行った上で会議を実施し、会議時間の短縮を図っていく必要がある。		

所管課評価

評価	B	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	評価理由	多種多様な業務で構成している当事業は、いずれも市政の円滑な運営に不可欠であり、引き続き、適切かつ迅速な対応が求められる。	改善案	経費的な見直しはもちろんのこと、各細事業の遂行にあたり、処理時間の短縮を図る。
----	---	--	------	--	-----	---

評価責任者(所管部長)評価・コメント

評価	B	本事業は市政運営を円滑に進めるうえで必要不可欠であるが、各業務の取組みに当たっては、効果的、効率的に進められるよう、その手法について常に見直しを図る。
----	---	---

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け

施策体系コード*	900204
分野	9行政経営
基本施策	2将来を見据えた行政経営
推進施策	(4)その他

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
特記事項なし

備考

備考
----

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	企画総務部 政策企画課	評価者 (課長)	高木 一義	評価責任者 (部長)	近光 慎二
事務事業コード	012021	事務事業名	まちづくり総合計画策定事業費	事業の分類	(ソフト事業) 補助・単独の別 単独 会計名 01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	P 最重要・緊急プロジェクト		節(まちの姿)		実施計画	×	
	基本施策			基本方向	20年度市民評価の満足度			
	推進施策				【実施なし】 %			
	推進施策の展開	○第2次周南市まちづくり総合計画基本構想(H27～H36)策定及び前期基本計画(H27～H31)策定				25年度市民評価の満足度		
						【実施なし】 %		
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を):	意図(どうい状態にしたい): まちづくりの最上位計画となる、次期(H27～H36)まちづくり基本計画:基本構想の策定を行うとともに、前期基本計画(H27～H31)の策定を行うもの。		事業の内容 (手段)	○新たなまちづくり総合計画の策定作業 ○各種団体との意見交換 ○パブリックコメントの実施 ○まちづくり懇談会の実施			

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績 【26年度】	○合併後のまちづくり及び総合計画の検証 ○各種関係団体との意見交換 ○まちづくり総合計画審議会の開催						事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)
	直接事業費	千円	2,568	5,045										
事業目標	目標名	—	計算式	達成項目/目標項目	単位	%	(予算額) うち一財	千円	2,568	5,045				
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	直接事業費	千円	1,271	4,740		対27年度増減理由	対28年度増減理由	
	目標値	—	—	—	—	—	(決算額) うち一財	千円	1,271	4,740				
	実績値	—	—	—	—	—	正職員人件費	千円	5,860	7,395				
	達成度(%)	—	—	—	—	—	人工数	人	0.80	1.00				
							支出コスト	千円	決) 7,131	決見) 12,135				
事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否			
	① 策定作業・審議会・市民意見聴取 (ソフト事業)		市民(審議会委員含む)	計画策定にあたり、審議会への諮問並びに答申の受理、関係団体等からの意見聴取	審議会の答申及び聴取した意見等を参考に総合計画を策定する。	審議会への諮問・答申並びに関係団体との意見交換やパブリックコメントの実施	正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託			
			<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他		細事業評価									
細事業の課題	特になし						A	改善案						

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	—	前年度までの指摘事項	—	指摘事項に対する改善状況	—
	細事業の課題・問題点			事業全体の課題・問題点	全部課署に関連する業務であり、全庁的な共通認識と情報共有をしっかりと行い、効率的な進捗を図っていく。 また、関連する各種計画との整合を図っていく必要もある。	

所管課評価

評価	A	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	評価理由	平成27年3月総合計画策定終了	改善案	
----	---	--	------	-----------------	-----	--

評価責任者(所管部長)評価・コメント

評価	A	市民や議会等の意見をいただきながら、第2次周南市まちづくり総合計画を策定した。今後は、PDCAサイクルにより、前期基本計画の進捗管理を行っていく。
----	---	---

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け

施策体系コード*	900204
分野	9行政経営
基本施策	2将来を見据えた行政経営
推進施策	(4)その他

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)	
策定終了	

備考

備考	

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	企画総務部 政策企画課	評価者 (課長)	高木 一義	評価責任者 (部長)	近光 慎二
事務事業コード	012022	事務事業名	頑張るふるさと応援事業費	事業の分類	(経常的事務事業) 補助・単独の別 単独 会計名 01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	Ⅷ 計画推進のための方策(第4章)		節(まちの姿)		実施計画	×
	基本施策	Ⅷ11 開かれた市政の推進(第4章)		基本方向	民間活力の導入や限られた行政資源を有効に活用し、簡素で効率的な行政経営に努めるとともに、意欲、能力、適性を生かした職員の育成と行政需要に適時・適切に対応した機動的な組織づくりを進めます。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	その他				【実施なし】 %	
	推進施策の展開	○第2次行財政改革大綱の着実な推進を図り、「選択」と「集中」による行財政の推進を図ります。 ○市が提供する各種サービスの質を高めることにより、市役所業務に対する満足度の向上を図ります。 ○行政を取り巻く環境の変化に迅速かつ柔軟に対応するため、事務事業の再編・整理や組織力・職員力の見直しを常に意識した施策を推進します。				25年度市民評価の満足度	
事業の目的(対象、意図)	対象(誰を・何を):	意図(どういう状態にしたい): ○自主財源の確保とともに、指定事業への寄附による市民参画の促進を図る。 ○本市の知名度アップとともに、さまざまな分野での人材発掘につなげる。		事業の内容(手段)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ふるさと納税制度「ふるさと周南応援寄附金」の全庁的な取りまとめを行う。 ※2次行革大綱5～「ふるさと納税制度の活用」</li> <li>●各界で活躍する本市ゆかりの「周南ふるさと大志」の協力により、市の知名度アップを図るとともに、助言等をまちづくりに活用する。</li> <li>●市外在住者を対象に、ふるさとサポーター「周南志民」を募集し、本市のPRを行う。</li> <li>●全国で活躍する市関係者それぞれの知識・経験を活用するため、市内出身者が集う団体へのPRを行う。</li> </ul>		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績 【26年度】	○「周南ふるさと大志」を19人任命し、まちづくりに対する意見交換会を開催。 ○ふるさとサポーター「周南志民」を募集(登録者:113人) ○寄附者(個人)に対し、お礼の品を送る制度を導入し、ふるさと周南応援寄附金の促進に取り組んだ(個人寄附件数:469件)						事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)
	直接事業費	千円	784	807	3,581	2,800		3,581						
事業目標	目標名	計算式	達成項目/目標項目		単位	%	事業費	(予算額) うち一財	千円	784	807	3,581	2,800	3,581
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度		直接事業費	千円	527	1,693		対27年度増減理由	対28年度増減理由
	目標値	—	—	—	—	—		(決算額) うち一財	千円	527	1,693			
	実績値	—	—	—	—	—		正職員人件費	千円	3,296	2,588			
	達成度(%)	—	—	—	—	—		人工数	人	0.45	0.35	0.45		
								支出コスト	千円	決) 3,823	決見) 4,281			
事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数	コスト	委託等の可否					
	①	ふるさと周南応援寄附金 (経常的事務事業)	寄附金寄附者	「ふるさと納税制度」の寄附金を「ふるさと周南応援寄附金」と名付け、寄附者を周南志民として迎える。	—	平成26年度実績 (563件:11,540,589円)	正職員 0.1 臨時等	直接事業費 1,351	委託 否	臨時嘱託 否				
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 全国的な傾向として、寄附に対して特産品等のお礼がある自治体の寄附件数が多い。寄附受付業務～返礼品送付業務については、事務が非常に煩雑である。				B	改善案	寄附件数によって事務量が左右されるが、例年の寄附件数や人的コストを勘案すれば、当業務を委託することが適当と思われる。						
	②	周南ふるさと大志 (経常的事務事業)	周南ふるさと大志19名	各界で活躍する本市ゆかりの大志の協力を得て、市の知名度アップ・助言等をまちづくりに活用	—	メーリングリストによる大志相互の情報交換 市長との懇談会開催	0.15	332	否	否				
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 特になし				A	改善案								

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否		
	③	周南志民	周南志民登録者	市外在住者を対象に、ふるさとサポーター「周南志民」を募集し、市のPRにつなげる	—	登録者(113名)	正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時	否	否
		(経常的事務事業)					0.1		10				
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input checked="" type="checkbox"/> その他					細事業評価							
	周南志民の主な役割は市のPRで、登録当初にPR用名刺を配付しているが、制度導入から5年が経過し、名刺を積極的に活用してPRしている人もあれば、登録のみという人もいる。					B	改善案	周南市の情報を発信する上で有用な制度であるが、更なるPR促進に向けた利活用法の検討を行う。					

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	ふるさと応援寄附金に対する返礼品について、高額なものや数多くのメニューを設定するなど寄附者の獲得合戦が全国的に展開されている。	前年度までの指摘事項		指摘事項に対する改善状況	
		細事業の課題・問題点	人口減少対策である移住・定住の促進や交流人口増大を目指すコンベンションシティを展開していく中で、シティセールスを充実させるため、ふるさと大志や周南志民制度のさらなる活用方法を検討し、ふるさと周南応援寄附金の返礼品について、内容を毎年検討していく必要がある。	事業全体の課題・問題点	同左	

所管課評価

評価	B	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	評価理由	シティセールスの更なる促進とともに、ふるさと応援寄附金のお礼の品について検討を行う。	改善案	ふるさと応援寄附金のお礼の品について、H26年度の実績を踏まえながら、さらに本市のPR効果が高いもの等を対象に加えるなどの検討を行う。
----	---	--	------	--	-----	---

評価責任者(所管部長)評価・コメント

評価	B	ふるさと周南応援寄附金の返礼品については効果が認められたことから、他団体との過度な競争に陥らないように留意して、種類を増やすなどにより継続して実施する。周南ふるさと大志や周南志民の制度については、さらに効果があがるよう取組手法の検討を行う必要がある。
----	---	---

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け

施策体系コード	900204
分野	9行政経営
基本施策	2将来を見据えた行政経営
推進施策	(4)その他

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
平成27年度中に返礼品の種類を増やしたこと、また、12月にメディアで取り上げられたことから、12月末時点での個人寄附は480件と、平成26年度実績である469件を既に上回っている。返礼品を通じたシティセールスには一定の効果が認められることから、平成28年度は、パンフレットの作成のため印刷製本費を増額し、市出身者などを含めた市外の方へ積極的にPRしていく。

備考

--



平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	企画総務部 政策企画課	評価者 (課長)	高木 一義	評価責任者 (部長)	近光 慎二
事務事業コード	012025	事務事業名	UJIターン促進事業費	事業の分類	(経常的事務事業) 補助・単独の別 単独 会計名 01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	VIII 計画推進のための方策(第4章)	節(まちの姿)		実施計画	×
	基本施策	VIII11 開かれた市政の推進(第4章)	基本方向	民間活力の導入や限られた行政資源を有効に活用し、簡素で効率的な行政経営に努めるとともに、意欲、能力、適性を生かした職員の育成と行政需要に適時・適切に対応した機動的な組織づくりを進めます。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	その他			【実施なし】 %	
	推進施策の展開	○第2次行財政改革大綱の着実な推進を図り、「選択」と「集中」による行財政の推進を図ります。 ○市が提供する各種サービスの質を高めることにより、市役所業務に対する満足度の向上を図ります。 ○行政を取り巻く環境の変化に迅速かつ柔軟に対応するため、事務事業の再編・整理や組織力・職員力の見直しを常に意識した施策を推進します。			25年度市民評価の満足度	
事業の目的(対象、意図)	対象(誰を・何を): 市外在住の移住希望者	意図(どういう状態にしたい): 関係各所の情報を集約し、移住検討者に対する的確な情報提供を行い、UJIターンの促進につなげる。	事業の内容(手段)	ホームページやリーフレット・県外でのUJIフェア等を活用し、本市の情報発信・関係団体等と連携・UJIターンの促進・移住交流の受入体制などの充実を図る。	【実施なし】 %	

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績	○大阪及び東京で開催されたUJIターンセミナーに参加し、移住希望者の相談に応じた。 ○パンフレットの情報更新や、HPの充実により、情報発信の強化を行った。						事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)
	【26年度】	直接事業費	千円	147	237	1,513		1,768	1,100					
事業目標	目標名	—	計算式	達成項目/目標項目	単位	%	(予算額) うち一財	千円	147	237	1,513	1,768	1,100	
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	直接事業費	千円	97	175		対27年度増減理由	対28年度増減理由	
	目標値	—	—	—	—	—	(決算額) うち一財	千円	97	175				
	実績値	—	—	—	—	—	正職員人件費	千円	1,465	1,109				
	達成度(%)	—	—	—	—	—	人工数	人	0.20	0.15	0.15			
							支出コスト	千円	決) 1,562	決見) 1,284				
事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否			
	①	UJIターン促進事業費 (経常的事務事業)	市外在住の移住希望者	市の情報発信・関係団体等と連携・UJIターンの促進・移住交流の受入体制などの充実	本市への移住者を増やし、人口減少の抑制を図る。	移住情報をホームページやリーフレット、県外でのUJIフェア等で発信	正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託			
							0.15		175	否	否			
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 受け入れ体制(住、働、生きがい等)の強化のため、関係部局、関係機関との連携が必要。					B	改善案	周南市の魅力を最大限にPRしていくため、関係部局、関係機関との連携のもと実施していく。						

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	東日本大震災以降、関東以北在住者からの問い合わせが増加し、大阪に比べて東京フェアの参加者の移住に対する関心度が高い傾向にあったが、年数経過とともに、その傾向も薄れてきている。	前年度までの指摘事項	都市間競争であり、なかなか効果は表れないが、中山間地域を加え都市部を含めた形で、周南市の魅力を発信し続ける。	指摘事項に対する改善状況	担当部局と連携し、HP等の情報発信の工夫を図っていく。
	細事業の課題・問題点	上記の「細事業の課題」のとおり		事業全体の課題・問題点	左記と同様	

所管課評価						
評価	B	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	評価理由	当事業は、本市の活性化に向けて必要な事業であり、引き続き進めることとする。	改善案	「まち・ひと・しごと創生法」に基づく、周南市版総合戦略を策定する中で、移住・定住につながる取組みを強化する。

評価責任者(所管部長)評価・コメント		
評価	B	人口減少を抑制するためにも、様々媒体を活用した情報発信により、本市の定住化策を周知することが重要であるが、具体的施策の拡充も必要となり、実施する担当部局と連携を図って進めていく。

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード*	300204
分野	3地域づくり
基本施策	2中山間地域の「地域づくり」の促進
推進施策	(4)UJIターンの促進

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
これまでの実績から、より効果の高い東京での移住・定住フェア等に重点的に出展し、里の案内人と連携したきめ細やかな移住相談を実施するため、参加旅費を増額。また、新たに広告料を計上し、移住希望者が求める情報を効果的に発信することで、本市への移住・定住を促す。

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	企画総務部 政策企画課	評価者 (課長)	高木 一義	評価責任者 (部長)	近光 慎二
事務事業コード	012060	事務事業名	市政アドバイザー事業費	事業の分類	(経常的事務事業) 補助・単独の別 単独 会計名 01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	Ⅷ 計画推進のための方策(第4章)		節(まちの姿)		実施計画	×	
	基本施策	Ⅷ11 開かれた市政の推進(第4章)		基本方向	民間活力の導入や限られた行政資源を有効に活用し、簡素で効率的な行政経営に努めるとともに、意欲、能力、適性を生かした職員の育成と行政需要に適時・適切に対応した機動的な組織づくりを進めます。	20年度市民評価の満足度		
	推進施策	その他				【実施なし】 %		
	推進施策の展開					25年度市民評価の満足度		
		【実施なし】 %						
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): ○市政における諸課題や問題点など ○職員への研修		意図(どういう状態にしたい): ○専門的な立場による助言から、市の諸課題へのスピーディーな対応につなげる。		事業の内容 (手段)	○本市ゆかりの学識経験者「市政アドバイザー」から、市が直面する諸課題について、専門的・大局的な視点での助言・提言を受け、本市のまちづくりに活用する。		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績 【26年度】	○「市政アドバイザー」との連絡調整 【アドバイザー】 ・藻谷浩介氏・・・講演1回、メール等での助言など ・横道清孝氏・・・総合計画策定に向けた市長・副市長・幹部職員との協議、メール等での助言など						事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)
	直接事業費	千円	795	628	631	630		631						
事業目標	目標名	—	計算式	達成項目/目標項目	単位	%	(予算額) うち一財	千円	795	628	631	630	631	
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	直接事業費	千円	455	456		対27年度増減理由	対28年度増減理由	
	目標値	—	—	—	—	—	(決算額) うち一財	千円	455	456				
	実績値	—	—	—	—	—	正職員人件費	千円	366	1,109				
	達成度(%)	—	—	—	—	—	人工数	人	0.05	0.15	0.10			
							支出コスト	千円	決) 821	決見) 1,565				
事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否			
	①	市政アドバイザー事業 (経常的事務事業)	周南市政	市の課題に対し、専門的・対極的な視点での助言を受け、市政に活用	—	「市政アドバイザー」との連絡調整	正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託			
							0.15		456	否	否			
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 アドバイザーからの助言や提言がどれだけ市政に反映されたかの効果が見えにくいソフト事業であるが、アドバイザー制度の活用による庁内のスキル向上及び施策の迅速な展開に寄与していくよう検討する。					B	改善案	庁内勉強会の定期的な開催や担当部局からの個別の相談等をしやすくするよう検討。						

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	平成24年度より開始。 市長をはじめ担当部局等が課題解決へ向けての専門的な視点からのアドバイス等を受けたいときに、アドバイザーの豊富な知識・経験を基に、助言等を受けることができる状況となっており、今後も施策を展開していくうえで、有効な事業である。	前年度までの指摘事項	今後も、市政運営における様々な課題について、まちづくり等の専門家である市政アドバイザーから適時適切な意見を聴取し、まちづくりに活かしていく。	指摘事項に対する改善状況	市内勉強会の定期的な開催等により、周南市の施策の方向性、迅速な展開、職員のスキルアップにつなげていく。
	細事業の課題・問題点	多忙なアドバイザーにおいて、緊急に周南市へ出向いていただくのはなかなか困難な状況の中、緊急に相談事項が生じた場合はメール等における対応で行っているが、早めにアドバイザーの予定を確保しながら定期的な勉強会の開催回数を増やしていきけるよう調整していく必要がある。		事業全体の課題・問題点	左記と同様	

所管課評価						
評価	B	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	評価理由	様々な課題を有する本市にとって、まちづくり等の専門家からの外部意見を聴取し、市政運営に活かすことは有益であり、継続して事業を展開したい。	改善案	迅速にアドバイスを受けられる環境整備、相談体制の構築などに努める。

評価責任者(所管部長)評価・コメント		
評価	B	市政運営における様々な課題について、まちづくり等の専門家である市政アドバイザーから適時適切な意見を聴取し、まちづくりに活かしていくために、今後も継続実施するが、さらに効果が上がるようその手法について見直しを図る必要がある。

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード*	900204
分野	9行政経営
基本施策	2将来を見据えた行政経営
推進施策	(4)その他

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
特記事項なし

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	企画総務部 政策企画課	評価者 (課長)	高木 一義	評価責任者 (部長)	近光 慎二
事務事業コード	012065	事務事業名	子ども議会開催事業費	事業の分類	(ソフト事業) 補助・単独の別 単独 会計名 01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	P 最重要・緊急プロジェクト	節(まちの姿)		実施計画	×
	基本施策		基本方向		20年度市民評価の満足度	
	推進施策				【実施なし】 %	
	推進施策の展開	第2次周南市まちづくり総合計画策定に向けて、市民アンケートや地域懇談会の結果を参考にし、各種団体の意見聴取や子ども議会の開催など市民参画の機会を積極的に取り入れ、市施策の方向性や目的の共有化を図る。			25年度市民評価の満足度	
					【実施なし】 %	
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 市内の子ども	意図(どういう状態にしたい): 市の未来を担う子どもたちの市政及び議会への理解を深めるとともに、将来のまちづくりに対する意見を聴取し、次期まちづくり総合計画の策定の参考にする。		事業の内容 (手段)	児童(生徒)が市議会議員の立場になり、市政全般について、市長に対し一般質問を実施する。	

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績 【26年度】	○平成26年度から新たに開始した事業 ○市内小学6年生29名が参加						項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)
								直接事業費	千円	0	182	150	150
事業目標	目標名	—	計算式	達成項目/目標項目		単位	%	(予算額) うち一財	千円	0	182	150	150
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	事業費	直接事業費	千円	0	160		対27年度増減理由 対28年度増減理由
	目標値	—	—	—	—	—	(決算額) うち一財	千円	0	160			
	実績値	—	—	—			正職員人件費	千円	0	3,328			
	達成度(%)	—	—	—			人工数	人	0.00	0.45	0.35		
							支出コスト	千円	決) 0	決見) 3,488			
事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否		
	①	子ども議会開催・調整	市内の小学6年生	議会の疑似体験を通じて、まちづくりへの親近感の醸成と、まちづくりへの参加のきっかけづくりを行う。	同左	7月下旬から2回事前学習会を開催し、10月子ども議会開催	正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託		
		(ソフト事業)					0.45		160	否	否		
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input checked="" type="checkbox"/> その他 新たに始めた事業のため、子どもたちのまちづくりへの興味の浸透度が測れないが、事業継続することで、ひとりでも多くのこどもに議会の経験をさせる。					細事業評価							
	B	改善案	事前学習会等、準備作業が必要であり、複数回の開催は困難であるため、当面はH26年度実施した方法による事業継続を行っていく。										

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	—	前年度までの指摘事項	—	指摘事項に対する改善状況	—
	細事業の課題・問題点	細事業の課題に同じ		事業全体の課題・問題点	同左	

所管課評価

評価	B	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	評価理由	ひとりでも多くの子どもたちが、まちづくりへの興味をにつことができるよう、効果的な実施方法等について研究していくことが望ましいと思われる。	改善案	当面は当該方法により事業を継続することとし、子どもに関する施策を所管する部署との連携を図りながら実施していく。
----	---	--	------	--	-----	---

評価責任者(所管部長)評価・コメント

評価	B	参加したこどもたちへの効果は認められるが、その他の子供たちへの展開など実施方法について見直しを検討する。
----	---	--

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け

施策体系コード*	900103
分野	9行政経営
基本施策	1市政に参画できる仕組みの充実
推進施策	(3)市民参画機会の拡充

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
特記事項なし

備考

備考
----